

劇団チョコレートケーキ

つきかけ

脚本：古川 健 / 演出：日澤雄介

2024年11月7日（木）～17日（日）@駅前劇場

企画・製作 一般社団法人 劇団チョコレートケーキ

助成 文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（公演創造活動））

独立行政法人日本芸術文化振興会

ご挨拶

いつもの文言で恐縮ですが、この物語は歴史的な事実を参考にしたフィクションです。実在の人物をモチーフにしておりますが、全ては創造の産物です。特に今回は作劇上の必要で、登場人物の設定（年齢・経歴等）にも実在の人物から変更している点がいくつもございます。その点のみお含み置きいただければ幸いです。

逆に作品上に登場する短歌は、そのまま引用させていただいております。この場をお借りいたしまして、作者、斎藤茂吉氏に深い感謝の意を表します。

短歌や俳句はいわゆる定型詩に分類される文学です。これの対義が自由詩ということになるのですが、日本においては定型詩、特に短歌の方が自由詩よりもはるかに歴史が長く、広く詠まれてきているように思います。たったの三十一文字の中に、どんな世界を詠むか？この課題に日本の歌人たちは取り組んできたのです。

なんの制約もない自由詩より、ひょっとすると短歌の方が日本人の情緒に適しているのかと考えることもあります。確かによくできた短歌というのは、とても雄弁で、三十一文字をはるかに超えた世界を読者に見せてくれるようにも思います。この三十一文字に己の世界を投影させる短歌という文学には、実に奥深い何かがあるように思います。

制限された世界で何事かを描くというのは演劇にも通じるところがあるのでしょう。舞台上という狭い空間の上で、世界を表現する。それが演劇を作るということなのだと思います。舞台を通じてお客様の心と作品が交わる短い時間。それが私達にとっての三十一文字なのだと思います。

いつまでも夏だと思ったら、足早に駆けていく秋。様々な娯楽の中から演劇を選んでくださってありがとうございます。どうか最後まで、ごゆっくりお楽しみください。

劇団チョコレートケーキ／劇作家 古川 健

6月に引き続き斎藤茂吉の物語です。『白き山』から5年経った世界。彼に大きな変化が現れます。人間誰しにも訪れる老いと死、それを描き出すのはなかなかにつらい作業です。僕は演出なので台本を通して俳優と向き合うわけですが、今回一番時間を使ったのがこの「老い」と「死」についての捉え方です。僕も歳を重ねて「老い」と「死」についての感触が変わってきました。想像ではなく実感が伴ってきたと言いますか、人生の折り返しを感じると言いますか、そんな感じのものです。ただこれは僕の中にあるもので他の人とは比べることが出来ません。押し付けることもできません。ただ話し合って共有できるよう台本と向き合いながら繰り返すだけです。稽古場ではそのような時間が流れておりました。

そして、最愛の人の死をどう受け入れるのか。これも難しい問題です。こちらの方が難しいかもしれません。今回の『つきかげ』は人生の最終盤のお話です。茂吉の葛藤とそれを取り巻く家族の物語。人の死に答えなどありませんから、どうぞお気軽にご覧ください。

本日はご来場、誠にありがとうございます。最後までごゆっくりお楽しみください。

劇団チョコレートケーキ／主宰・演出 日澤雄介

キャスト

斎藤茂吉 さいとう もきち

・ ・ ・ 緒方 晋 (The Stone Age)

斎藤茂太 さいとう しげた

・ ・ ・ 浅井伸治 (劇団チョコレートケーキ)

斎藤宗吉 さいとう そうきち

・ ・ ・ 西尾友樹 (劇団チョコレートケーキ)

宮尾百子 みやお ももこ

・ ・ ・ 帯金ゆかり

斎藤昌子 さいとう まさこ

・ ・ ・ 宇野愛海

山口茂吉 やまぐち もきち

・ ・ ・ 岡本 篤 (劇団チョコレートケーキ)

斎藤輝子 さいとう てるこ

・ ・ ・ 音無美紀子

スタッフ

脚本 / 古川 健 (劇団チョコレートケーキ)

演出助手 / 平戸麻衣

演出 / 日澤雄介 (劇団チョコレートケーキ)

舞台監督 / 本郷剛史、小川陽子

舞台美術 / 長田佳代子

タブレット字幕 / G-marc (株式会社イヤホンガイド)

美術助手 / 安岐祐香

宣伝美術 / R-design

照明 / 長谷川楓 (松本デザイン室)

宣伝衣装 / 藤田 友、石塚貴恵

音響 / 佐藤こうじ (Sugar Sound)

写真 / 池村隆司

音響オペレーター / 今里 愛 (Sugar Sound)

撮影 / 神之門隆広、与那覇政之、松澤延拓

音楽 / 佐藤こうじ (Sugar Sound)

大竹正悟、遠藤正典

衣装 / 藤田 友

web / ナガヤマドネルケバブ

衣装進行 / 石塚貴恵

制作協力 / 塩田友克

ヘアメイク / 赤坂街子

制作 / 菅野佐知子 (劇団チョコレートケーキ)

大道具制作 / Carps、美術工房いろあと

企画・製作 / 一般社団法人劇団チョコレートケーキ

協力

トム・プロジェクト / オフィスのいり / jungle / The Stone Age / 株式会社イヤホンガイド / CAIMAN WORKS

松本デザイン室 / Sugar Sound / tran.cs / 奥田英子 / 小川哲也 / 蕨崎今日子 (順不同・敬省略)

次回公演 ガマ

【脚本】 古川 健 【演出】 日澤雄介

【出演】

浅井伸治

岡本篤

西尾友樹

(以上、劇団チョコレートケーキ)

青木柳葉魚

清水緑

(タテヨコ企画)

(うさぎストライプ)

大和田獏

2025年5月下旬

<https://www.geki-choco.com/>

今後の予定

【日澤雄介 演出／岡本篤 出演】

●日本の劇団

『十二人の怒れる男』

2024年12月11日（水）～15日（日）

@下北沢・駅前劇場

公式X→@nihonnogekidan

【古川健 脚本／日澤雄介 演出】

●トム・プロジェクト プロデュース

『おばあとラッパのサンマ裁判』

2025年2月3日（月）～9日（日）

@紀伊國屋ホール

HP→<https://www.tomproject.com/>

【西尾友樹 出演】

●タカハ劇団

『他者の国』

脚本・演出：高羽彩

2025年2月20日（木）～23日（日）

@本多劇場

HP→<https://takaha-gekidan.net/>

【岡本篤 出演】

●パラドックス定数

『ズベズダ-荒野より宙へ-』

脚本・演出：野木萌葱

2025年2月20日（木）～3月2日（日）

@ザ・ポケット

HP→<https://pdx-c.com/>

●CM

JRA WEB限定CM「ウマのそら。」

【浅井伸治 出演】

●タテヨコ企画

『フルナルの森の船大工（仮）』

2025年3月19日（水）～23日（日）

脚本・演出：青木柳葉魚

@シアター風姿花伝

HP→<http://tateyoko.com>

【緒方晋 出演】

●スラステスstick

第6回公演『ヨゴレピンク』

脚本・演出：松本哲也（小松台東）

2025年2月19日（水）～26日（水）

@下北沢・駅前劇場

【帯金ゆかり 出演】

●劇団チリ

『台本のない初日』

構成・演出：ブラジリィー・アン・山田

2024年11月24日（日）11時30分／15時

※11時30分の回に出演

@コトブキヤホール（立川）

HP→<https://note.com/anyamada/n/na6fa5790145e>

●ザ・プレイボーイズ

『パラレルワールドでも恋におちて』

脚本・演出：善雄善雄

2025年2月2日（日）～9日（日）

@シアター711

HP→<https://the-playboys.com/>

【宇野愛海 出演】

●CM

味の素株式会社「フードロスラ どうする!?人類篇」

宇野愛海 Instagram→@unonarumi_official